

図書館員のひみつの本棚 第156回

幼児から大人まで楽しめる絵本です。

『かえでがおか農場のなかまたち』

アリスとマーティン・プロベンセン／作・絵 乾 侑美子／訳 童話館出版

1998年 2400円（税抜）

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆ 低学年☆☆☆ 中学年☆☆☆ 高学年☆☆ 中学生☆
高校☆ 一般☆

（☆が多い年齢の子どもにお勧めです。）

<本の紹介>

かえでがおか農場に住む動物たちを紹介した絵本。子どもが嫌いなオンドリのオオイバリ、きれいだけどただじっとしているだけで、見ていて面白くないネコのヤナギ、怖いものなしのヤギのサムなど、ペットではない、農場の動物たちの動物らしさを、愛情とユーモアたっぷりに紹介してくれます。ストーリーはありませんが、縦32cm、横23・5cmという大きなページに描かれた、個性的で魅力的な絵と、軽快でユーモラスな文章が、かえでがおか農場の動物たちが本当に私たちの前にいるかのように感じさせてくれます。

<子どもに手渡す時のポイント>

大判なのと、ストーリーがないことなどから、集団への読み聞かせには向きませんが、家族や友達などと一緒に、じっくり見ながら、面白いところを語りあって楽しむといいと思います。もちろん、一人で読んでも楽しい絵本です。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

